



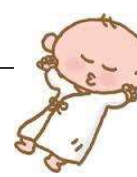


# 帝王切開術で出産された患者様へ

患者様用

主治医( )

看護師( )

月日	月 日	/	/	/	/	/	/	/	/	
出生当日		生後1日目	生後2日目	生後3日目	生後4日目	生後5日目	生後6日目	生後7日目	生後8日目	
目標	□胎外の環境に慣れ、呼吸や心拍が安定する。		□黄疸や生理的体重減少が正常範囲内で経過する。						□予定通り退院ができる。	
処置 お薬	<input type="checkbox"/> NICUに入室後、30分以内に点眼を済ませます。 (産道感染による化膿性結膜炎を予防するため 抗菌薬の点眼をします) <input type="checkbox"/> 生後24時間以内にビタミンK2シロップの内服をします。 (ビタミンK2欠乏性出血性疾患を予防するためです)		<input type="checkbox"/> ビタミンK2シロップの内服があります。 							
検査	<input type="checkbox"/> 必要に応じて、超音波検査やレントゲン撮影、採血、 血糖測定などがあります。		<input type="checkbox"/> 検温、黄疸のチェック(3~4回/日) <input type="checkbox"/> 体重測定(毎日)			<input type="checkbox"/> 先天性代謝異常検査 (かかとかから少量の血液を採取します)		<input type="checkbox"/> 退院前診察 <input type="checkbox"/> 聴力検査		
活動 安静度 保清	<input type="checkbox"/> 出生後、手術室でお母さんと面会します。 赤ちゃんはNICUに入院し、一晚呼吸や心拍などを 観察します。 <input type="checkbox"/> 母児ともに状態が安定していれば、お部屋で赤ちゃんと 面会できます。 		<input type="checkbox"/> 出生後の経過が問題なければ、 母児同室を開始します。 <input type="checkbox"/> 沐浴開始 							
食事	<input type="checkbox"/> 赤ちゃんの状態が落ち着いていれば、お母さんのいる 部屋へ行き、おっぱいをあげることもありますが、 積極的にミルクをあげることはありません。 (血糖が低い場合等は、ご家族の許可を得てミルクを あげることもあります)		<input type="checkbox"/> 母児同室開始後は、赤ちゃんが欲しがった時に欲しいだけ母乳を あげてください。 <input type="checkbox"/> 赤ちゃんが起きなくても、3時間毎には起こしながらおっぱいを あげるようにします。 <input type="checkbox"/> 黄疸が強い、体重減少が多い場合には、ミルクを追加していきます。			<input type="checkbox"/> 退院後、38℃以上の発熱が持続し、 おっぱいやミルクの飲みが悪い時は 病院を受診しましょう。 <input type="checkbox"/> 臍がいつまでもじくじくしている、 膿がでる、出血がある、赤くなっている 場合には病院を受診しましょう。 				
患者様および ご家族への説明	<input type="checkbox"/> 出生後、2階の入院窓口で入院手続きをお願いします。 <input type="checkbox"/> NICU内では、ご両親のみが面会可能です。		<input type="checkbox"/> 黄疸が強くなると、赤ちゃんは入眠がちになり哺乳力も低下してきます。 (必要に応じて血液検査をします。場合によっては、光線療法などが 必要になることもあります)							
入院時の必要物品	<input type="checkbox"/> ティッシュ1箱、オムツ、おしり拭き(ティッシュ以外はお産セットに入っています) <input type="checkbox"/> お産セットは、入院時に産科スタッフがご渡します。									

<連絡先>  
 琉球大学医学部附属病院  
 周産母子センター  
 電話: 098-895-3331(内線3410)